

news 北中津原新聞 paper

# おらんたちの村

発行所 北中津原自治会

平成22年度 第4刊

謹んで新年の  
お慶びを申し上げます

## 自治会長 年頭挨拶

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は自治会活動に色々とお協力頂きまして、本当にありがとうございました。

これからも古くからの伝統を守り、新しい事にも取り組みながら、さらに住みよい北中津原にしていきたいと思えます。

本年も変わらぬご支援を  
宜しくお願い致します。

平成二十三年 元旦

自治会長 石田敏彦

## 中原神社 新嘗大祭

十一月十四日(日) 中原神社で新嘗大祭が行われました。新嘗大祭は、秋の収穫を祝い、五穀豊穣に感謝をします。

神前に今年収穫した作物をお供えし、宮司は袍と冠の正服で祭祀を行い、自治会長、氏子総代は礼服で大祭に出席します。今年の大祭には、山郷小学校の六年生の、麗華さん、真子さん、彩乃さん、千寧さんの4名が舞いを奉納をしてくれました。彼女たちは少し緊張しているような、真剣な表情でしたが、優雅で華やかな舞いを見せてくれました。御苦労さまでした。

新嘗大祭と合わせて、七五三詣を行いました。中村沙菜ちゃん、吉野匠真くんが両親と一緒に玉串拝礼をしてくれました。

ますます元気に、健やかに成長されることを、みなさんと共に願いたいと思えます。



いつしよに記念撮影です



七五三詣の拝礼の様子

## 中山間事業 コスモスが満開！

8月に種まきをしたコスモスが満開となりました。コスモス畑の周りには、以前 中山間事業で植えた彼岸花も咲いて、とてもきれいでした。いろいろな取り組みによって、少しずつですが、北中津原の景観が変わってきました。



彼岸花



リンドウ

地区内にはいろいろな草花、花木が咲いています。が、圃場整備を行った頃に絶えてしまったと思われる“自生のリンドウ”を昨年あたりから見つけられるようになりました。

農地・水・環境事業や、中山間事業の取組み、草刈り作業などの効果のあらわれかと思えます。

# 農地・水・環境保全向上事業 収穫祭 活動報告写真展



春にみんなで植えた満月もちが、地区のみなさんの手で、ていねいに育てられ収穫することができました。今年も、収穫間近にいのししに荒されたり、脱穀を予定した頃の天候がわるかったりして、子どもたちと、地区のみなさんがいっしょに稲刈りや脱穀作業をすることができませんでした。少し残念でしたが、十一月二十一日(日)に行われた収穫祭では、天候も見方をしてくれました。多くの地区のみなさんと、日沖市長、日沖

県議、山郷小学校の校長先生、教頭先生、地区担任の先生、社会福祉協議会や警察の方にも参加してもらい、100名を超えるみなさんの参加となりました。ありがとうございました。催しは、収穫した満月もちの餅つきと昨年につづき、花もち作りをしました。名物の自然薯とろろ汁や、里芋、大根などの入った豚汁、恒例の焼きそばや、焼き鳥、みたらしなどもあり、堪能しました。自治会館内では、農地・水・環境保全向上事業 北中津原を守る会の4年間の活動の記録を写真展として掲示して、「こんな事したなあ!」とか、「これ僕や!」、写つとる!」などと楽しんでもらいました。この4年間の活動で、地域のみなさんに、北中津原が元気になり、きれいになってきた。と感じてもらえると思います。



収穫祭の様子



出来あがった花もち

わたしも  
行ったヨ!

当日の様子がCTYいなべ10で放送されました。現在CTYのホームページのコミュニティチャンネル NEWS エリア便で見ることが出来ます。この事業も来年が5年計画の最終となります。その後、事業がどうなるのかはわかりませんが、地域活性化のひとつとして続けていければと思います。



CTY 取材の一コマ!

「いなべ10!」と元気な声を収録しました

子どもたちも同様に収録しました 放送をたのしみして下さい



本年も

北中津原新聞

おらんたちの村 を

よろしく願いいたします

折り紙と  
人形劇の集い

いなべ市青少年育成市民会議  
北勢支部

十月十三日(水)午後七時北中津原自治会館で、折り紙と人形劇の集いが行われました。この催しは、いなべ市青少年育成市民会議北勢支部の事業で、子どもたちと直接交流出来る時間を作り、参加していただいたみなさんといっしょに、ふれあいのひと時をもつためのものです。

大安町の伊藤正子さんの指人形による「人形劇 なかよし」から始まり、みんなで折り紙を折りました。麻生田の小川時生さんの紙芝居や腹話術もあり、腹話術では、ケン



折り紙を折っている様子

ひとりの手

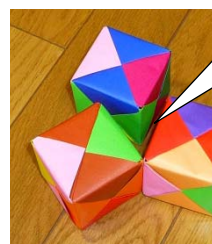
訳詞 本田路津子  
作曲 ピートシーガー

1. ひとりの小さな手 何もできないけど  
それでも みんなの手と手をあわせれば  
何かできる 何かできる
2. ひとりの小さな目 何も見えないけど  
それでも みんなの瞳で見つめれば  
何か見える 何か見える
3. ひとりの小さな声 何も言えないけど  
それでも みんなの声が集まれば  
何か言える 何か言える
4. ひとりで歩く道 遠くてつらいけど  
それでも みんなの足ぶみひびかせば  
楽しくなる 長い道も

ちゃんがんばってくれました。最後は、みんなで「ひとりの手」という歌をうたいました。この歌は、一度聞けばおぼえて、一度歌えば忘れないうい、そんな心になる歌です。参加した30名ほどのみなさんは、おだやかな気持ちになったことと思います。この集いは、北中津原自治会館の他、12日 阿下喜地区(飯倉慈光院)、14日 治田地区(別名自治会館)、15日 十社地区(畑毛公会堂)で行われました。



伊藤正子さんによる人形劇



折り紙の  
完成品



小川時生さん  
と ケンちゃん

北中津原遺産  
上墓地の門柱

上墓地に石の門柱がありま す。いつごろ建てられたのか、誰によって建てられたのか、門柱に刻まれています。風化して読みづらくなっています。「当時を知る人も年配の人だけになってきたので、語り継ぐなど、北中の歴史を残しておくとなえなあ」という話しを聞き、教えてもらって記事にしました。

建立は、昭和十六年四月。中村三五平さん、伊藤松太郎さん、中村藤吉さん、伊藤斧八さん、中村元八さんの5名によって建てられました。

来春 建立から70年を迎えることになりました。

中村三五平さんは、中村徳郎さんのおじいさんで、伊藤松太郎さんは、伊藤捷彦さんのおじいさん。中村藤吉さんは、中村重増さんのおじいさん。伊藤斧八さんは、伊藤圭城さんのおじいさん。中村元八さんは、中村基義さんのおじいさんです。

当時、田畑や山の仕事を中心の生活の中で、資金や手間など、どのようにされたのかわかりませんが、先人達の北中津原への思い入れを受け継いでいかなければいけないと感じました。

火葬場の前には灯籠が建てられています。この灯籠は、門柱を寄進した先人五人の次の世代の、伊藤善重さん。中村敏太郎さん。中村儀市さん。中村重市さん。伊藤正之さんによって建てられました。昭和四十四年十一月と書かれています。

一度 気にかけて見てもらえればとおもいます



上墓地の門柱(上)と  
灯籠(右)

